

令和5年度「全国学力・学習状況調査」 延岡市の調査結果について

延岡市教育委員会

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の概要

- (1) 調査実施日 令和5年4月18日（火）
- (2) 対象学年 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年
- (3) 調査対象 延岡市公立小学校26校、延岡市公立中学校15校、義務教育学校1校
- (4) 調査内容 小学校…国語、算数、質問紙調査
中学校…国語、数学、英語、質問紙調査

【調査問題：下記①と②を一体的に問う】

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

【児童生徒質問紙調査】

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容

【学校質問紙調査】

調査する学校を対象に、学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する内容

3 実施の概要と調査内容について

全国の小学6年生・中学3年生を対象に学力・学習状況調査が行われ、市内の小学校25校、中学校15校、義務教育学校1校が参加※し、上記のとおり、調査問題と質問紙調査に取り組みました。

学習指導要領では、育成を目指す資質・能力が「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理されています。下記4(1)は、「学びに向かう力、人間性等」に関わると宮崎県が考える児童生徒質問紙調査結果の一部を、下記4(2)は「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」に関わる実施教科の調査結果を示しています。

※令和5年度は、浦城小学校及び島野浦学園に6年生児童が在籍していないため、小学校調査は2校未実施です。

4 調査結果の概要

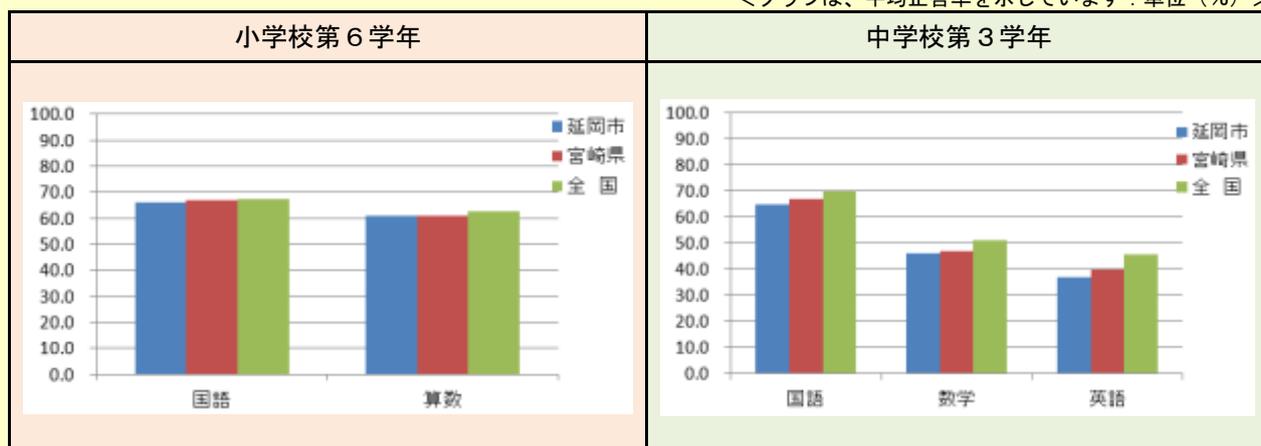
(1) 児童生徒質問紙調査の結果（一部）

<数値は、肯定的な回答の割合を示しています：単位（％）>

質問事項	小学校			中学校		
	延岡	宮崎	全国	延岡	宮崎	全国
将来の夢や目標を持っていますか	86.9	84.2	81.5	69.6	69.5	66.3
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	80.0	76.7	76.8	65.0	68.0	63.9
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	73.3	70.8	70.7	49.7	52.9	55.0
これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	75.9	77.5	78.8	69.1	75.1	79.2
学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか	82.3	81.5	81.8	74.9	76.9	79.7
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか	80.1	78.4	77.4	61.5	65.4	69.2

(2) 実施教科の調査結果

<グラフは、平均正答率を示しています：単位（％）>



5 本市の特徴（概要）

- 児童生徒質問紙調査の結果を見ると、小・中学校ともに、「将来の夢や目標を持っていますか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問事項に肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、ふるさと教育推進事業やキャリア教育、地域の方々との学習の成果が表れています。
- 小・中学校ともに「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」という質問事項に肯定的な回答をした割合が、全国平均よりも低くなっています。
- その他の質問事項について肯定的な回答をした割合は、小学校では、全国平均より高くなっており、中学校では、全国平均より低くなっています。
- 実施教科の結果を見ると、小学校は、全国平均とほぼ同等ですが、中学校は全国平均と差が見られます。

6 児童生徒質問紙調査の状況（詳細）

(1) 学習に関する主な項目について（小学校）

- 以下の質問項目などに肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、先生方の指導やはげまし隊の皆さんの支援を基に、わかあゆ教育プランに掲げる本市が目指す子ども像や延岡市の子ども達に身に付けさせたい力が身に付きつつあることが分かります。
 - ・ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
 - ・ （国語・算数）の勉強は大切だと思いますか
 - ・ （国語・算数）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 以下の質問事項などに肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも低くなっており、総合的な学習の時間や自ら問いを立て、課題の解決に向け、仲間と協働する学習活動などを充実させていく必要があることが分かります。
 - ・ 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
 - ・ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

(2) 生活に関する主な項目について（小学校）

- 以下の質問事項などに肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、自他の幸せのために学び行動したり、ふるさと延岡への愛着と誇りをもてていたりする様子が分かります。
 - ・ 自分には、よいところがあると思いますか
 - ・ 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか
 - ・ 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか
- 以下の質問事項などに肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも低くなっており、コミュニティ・スクールを含めた学校・家庭・地域の連携による教育コミュニティづくりを推進していく必要があることが分かります。
 - ・ 今住んでいる地域の行事に参加していますか

(3) 学習に関する主な項目について（中学校）

- 以下の質問項目などに肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、先生方の日々の指導や市内企業等と連携した講師派遣事業、職場体験等のキャリア教育が生徒の意識を向上させていることが分かります。
 - ・ 国語の勉強は大切だと思いますか
 - ・ 数学の勉強は大切だと思いますか
 - ・ 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 以下の質問事項などに肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも低くなっており、論理コミュニケーション力の育成や総合的な学習の時間を中心とした自ら問いを立て、課題の解決に向け、仲間と協働する学習活動などを充実させていく必要があることが分かります。
 - ・ 1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

(4) 生活に関する主な項目について（中学校）

- 以下の質問事項などに肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、自他の幸せのために学び行動しようとする意欲や、ふるさと延岡への愛着と誇りをもとうとする意識の高まりが分かります。
 - ・ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
 - ・ 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか
- 以下の質問事項などに肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも低くなっており、コミュニティ・スクールを含めた学校・家庭・地域の連携による教育コミュニティづくりを推進していく必要があることが分かります。
 - ・ 今住んでいる地域の行事に参加していますか

7 学校質問紙調査の状況（詳細）

(1) 小学校について

- 以下の質問事項に肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、授業支援システム等のICT活用による働き方改革が推進されていることが分かります。
 - ・ ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか
 - ・ ICTを活用した校務の効率化の一環として、クラウドを活用した校務の効率化（クラウドサービスを活用した保護者への連絡や、アンケートの実施、教職員等会議のオンライン化等）に取り組んでいますか
- 以下の質問事項に「週に1回以上」と回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、授業支援システム等のICT活用による授業改善が推進されていることが分かります。
 - ・ 教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか
 - ・ 児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
 - ・ 教職員と児童がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
- 以下の質問事項に肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、小・中・義務教育学校9か年を見通した取り組みが推進されていることが分かります。
 - ・ 近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか
 - ・ 近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか
- 以下の質問事項に肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、延岡の豊かな人材や教育資源を活用した学校運営協議会や地域学校協働活動が効果的に推進されていることが分かります。
 - ・ 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか
 - ・ 上記の取組は教員の業務負担軽減に効果がありましたか
 - ・ コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか

(2) 中学校について

- 以下の質問事項に肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、自然体験、創作活動等を通じたふるさと教育の推進や市内企業等と連携した講師派遣事業の充実、また、論理コミュニケーション授業の実施による大学との連携による新しい学びの創造が図られていることが分かります。
 - ・ 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか
 - ・ 生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、生徒が学校外の施設（他の学校や社会教育施設、民間企業等）にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか
- 以下の質問事項に肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、研修やICT支援員のサポートを踏まえた授業におけるICT活用が推進されていることが分かります。
 - ・ 教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか
 - ・ コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか
 - ・ 生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか
- 以下の質問事項に肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、小・中・義務教育学校9か年を見通した取り組みが推進されていることが分かります。
 - ・ 近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか
 - ・ 近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか
- 以下の質問事項に肯定的な回答をした割合は、全国平均よりも高くなっており、延岡の豊かな人材や教育資源を活用した学校運営協議会や地域学校協働活動が効果的に推進されていることが分かります。
 - ・ 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか
 - ・ 保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか
 - ・ 上記の取組は教員の業務負担軽減に効果がありましたか
 - ・ コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか

8 各教科の状況

(1) 小学校国語科

- 「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」問題や「送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」、「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題などにおいて、全国平均を上回っています。
- 「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる」問題や「日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる」問題な

どにおいて、全国平均を下回っています。

(2) 小学校算数科

- 「() を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる」問題や「加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができるかどうかをみる」、「台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる」問題などにおいて、全国平均を上回っています。
- 「百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる」問題や「(2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができるかどうかをみる」問題などにおいて、全国平均を下回っています。

(3) 中学校国語科

- 「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる」問題において、全国平均を上回っています。
- 「文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる」問題や「読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる」問題などにおいて、全国平均を下回っています。

(4) 中学校数学科

- 「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる」問題などにおいて、全国平均を下回っています。

(5) 中学校英語科

- 「日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる」問題などにおいて、全国平均を下回っています。

上記の全国学力・学習状況調査の結果から、教育委員会と各学校の取組の成果と今後取り組んでいくべき課題が見えてきました。一方で、調査により測定できるのは学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえつつ、教育上の効果を高めていく必要があります。

これからも、学校・家庭・地域が一体となって、ふるさと延岡への愛着と誇り、豊かな心と自己肯定感を土台として、自他の幸せのために学び行動する子どもの育成を目指した教育活動の推進を図っていきます。

目指す子ども像

こうどう
幸動

～自他の**幸**せのために学び**行**動する子ども～

延岡市の子ども達に身に付けさせたい力

ふるさと延岡の優れた自然や文化、伝統、人との絆を通して身に付けた豊かな心や自己肯定感を土台として、自他の**幸**せのために、自ら問いを立て、課題の解決に向け、仲間と協働して粘り強く学び**行**動する力

ふるさと延岡への愛着と誇り、豊かな心と自己肯定感を土台とした学びの姿



ふるさと延岡への
愛着と誇り



豊かな心
自己肯定感